

Netyear Group Corporation

Innovation Design

事業・組織の進化・変容を追求するイノベーション・デザイン

Version : 1.6



私たちの役割とは？

次の次元を問い トレードオフを乗り越える

目の前の改善やオペレーションに取り組んでいても新たな価値は生まれません。

イノベーションは**不可逆の変化を目指し、二者択一から離れたバイアス破壊**が必要です。

世界観・顧客課題・解決策を縦横無尽に行き来し、次の統合点を探り創りあげるのです。

私たちは、イノベーションの本質を問い続けるコラボレーションを通じて、

貴社本来のブランドづくりを支援します。



Mission



どんな課題？

こんな課題に向き合う方に

バイアスに囚われがち
バイアスを破壊したアイデアを
自社メンバーで量産したい

エネルギーが乏しい
新たな製品・サービスの創出と
リーダーシップ開発を同時に追求したい

世の中をリードできていない
技術や顧客中心だけのアイデアに終始せず
世の中をリードする世界観を生み出したい


何をすべきか曖昧
新たな部門の役割が曖昧
ゼロから未来を描きたい

Issue



何をもちたらす？

Make

 こんな未来を生み出したい方に



自分やチームの
意志や想いが鮮明になる



顧客の切実な
痛みや望みに気づく



新たな
製品・サービスを生む



勇気と自信を身に着け
創造性を最大化する



多種多様な
リーダーを惹きつける

**カオスを乗り越えなす経験と知恵を蓄積しながら
チームと成果をリードする場を生み出します**



サービスの特徴は？

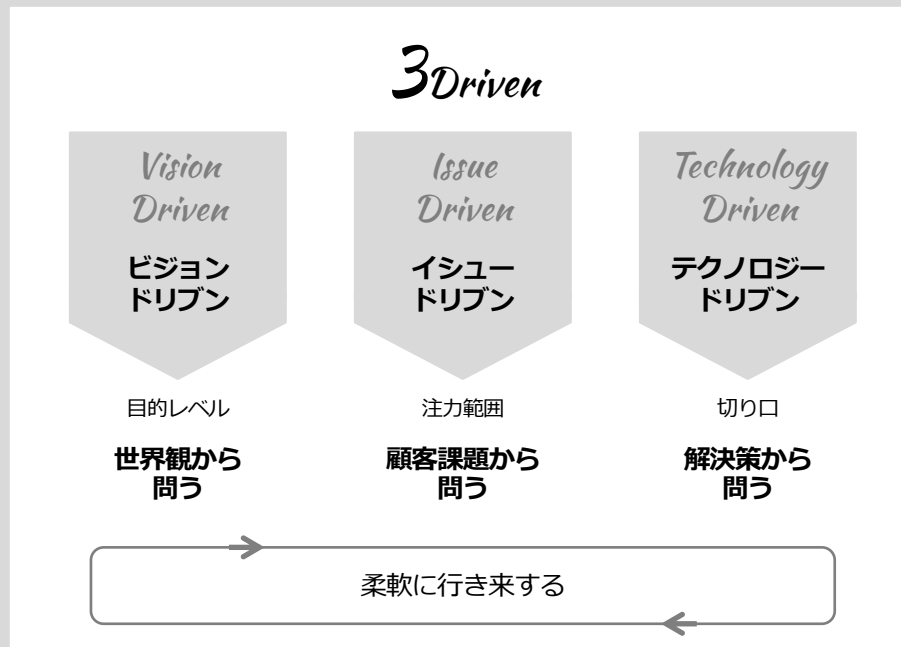
フレキシブルにコラボレーションします。

フレキシビリティ

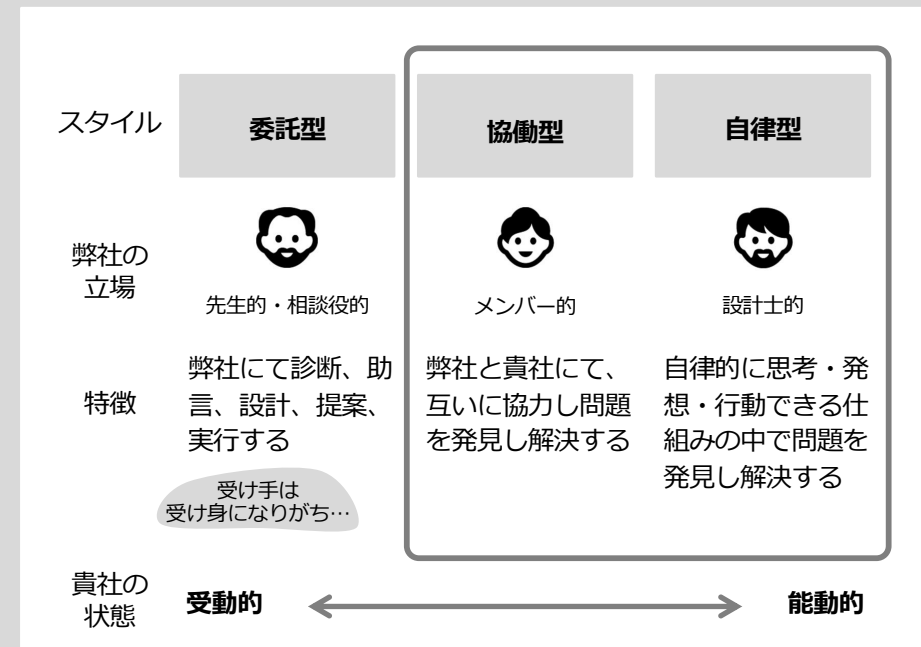
Flexibility

コラボレーション

Collaboration



既知・既存のやり方や特定のメソッドに囚われず、イノベーションの根底を流れる本質を問い、状況に応じて柔軟に思考・発想・行動を加速させます。



単に委託されたタスクをこなすだけではありません。貴社メンバーとの協働型、弊社プログラムの中で貴社メンバーが取り組む自律型にて取り組んでいます。



Why

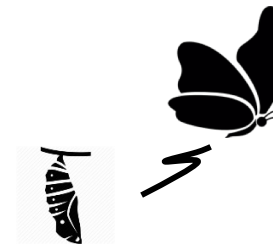
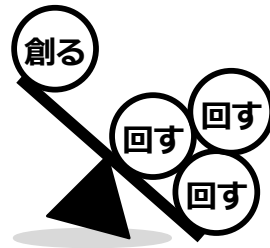
なぜ、イノベーション？

貴社ブランドらしさを追求します。

オペレーション
Operation



イノベーション
Innovation



目の前のタスクに偏る

事業・組織の本質は無常。昨今の加速度的な市場変化も相まって、時とともに**ブランドらしさが失われます**。

多くの組織は、業務比率の**大部分がオペレーション**に当てられ、イノベーションにチャレンジしていません。

近視眼的に目の前のタスクに偏り、表面的な顧客体験やデジタル活用だけでは、**問題や競合が増す**ばかりです。

進化・変容に向かう

イノベーションは、過去に囚われず、柔軟性を担保し、**創造性を発揮できる場**をつくることから始まります。

好奇心をもって、実験と発見を繰り返し、次の統合点を見つけるための**活動を、事業・組織に組み込む**のです。

次の次元を問い続けることでのみ、**ブランド本来の姿**を維持・発展できるのです。



どこへ向かう？

既存事業のイノベーション、新規事業のイノベーションを支援しています。

未来に向けた取り組みは、今、どんな状況なのかを自問することから始まります。今、何が必要でしょうか？

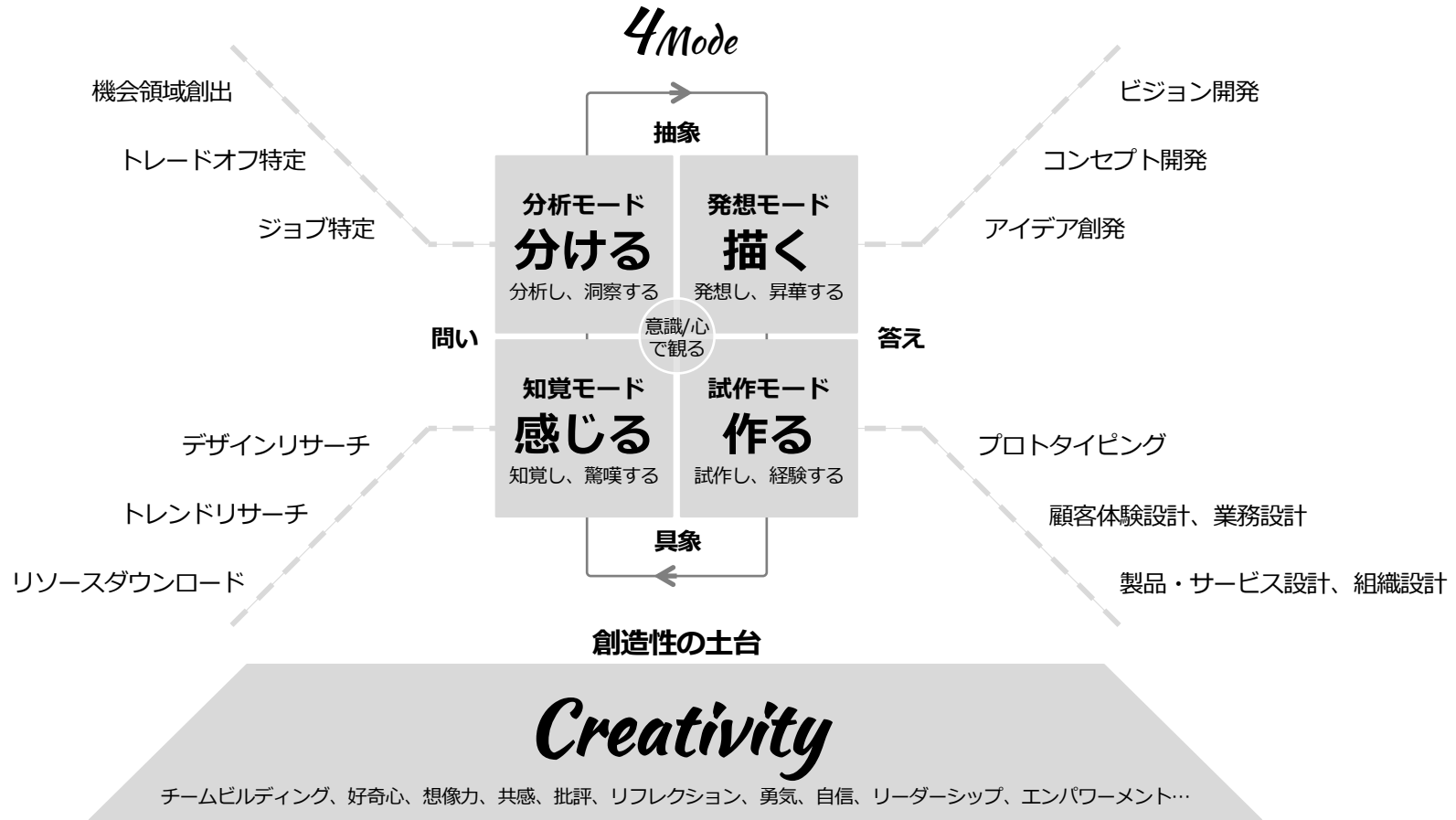


どのように取り組む？

誰もが自らの能力を超えて挑戦できるよう、**事業・組織の構造化と対話の場**を生み出し、スピーディーに**実験と発見**を繰り返します。状況と目的に合わせ、**4モードの行き来**を支援します。

How

Service



感じ・考え・動き、創造性を最大化



What

何を、生み出す？ フィットさせる？

ブランドの意志や想いを明らかにし、機会や障害を捉えフィットさせます。
状況と目的に合わせ、**5つの軸の行き来**を支援します。

Scope



- ①理由：私たちを・私を、存在させる理由は？
- ②場所：①の理由のために、どの場所で戦い共生するのか？
- ③価値：②の場所で、どんな価値で勝ち共生するのか？
- ④能力：③の価値実現のため、どんな能力を向上するのか？
- ⑤仕組：④の能力の向上・維持のため、どんな仕組みを築くか？

Fit※

イノベーション 基盤		① 理由	Team Vision Fit チーム×世界観 心から情熱を燃やせる世界観は明らかであるか？
イノベーション 創出	有用性	② 場所	Customer Issue Fit 顧客×課題 真に重要な顧客課題、痛み・望みを捉えたか？
	実現可能性	③ 価値	Issue Solution Fit 課題×解決策 課題を解決できる望ましいアイデアを描いたか？
	持続可能性		Solution Product Fit 解決策×製品・サービス アイデア・解決策を構築できるか？提供できるか？
イノベーション 基盤		④ 能力	Product Market Fit 製品・サービス×市場 段階的に注力する市場は明らかか？持続的に儲かるか？
		⑤ 仕組	Value Capability Fit 価値×能力 価値を生み続けるための能力は強化されているか？
			Capability System Fit 能力×仕組 能力を惹きつけ続けるシステム・文化を育てているか？

イノベーションの基盤と創出を同時に追求

※FitおよびDiscover, find, Develop, Create



実験と発見を繰り返し、イノベーションに挑もう！

OUR MANTRA

Experiment, Discovery, Repeat.



詳しくはお問い合わせください

Netyear Group Corporation

<http://www.netyear.net>

ネットイヤーグループ株式会社

〒104-0061
東京都中央区銀座2-15-2
東急銀座二丁目ビル

担当：横山 信顕

080-6844-5323

n-yokoyama@netyear.net

